

# 飛び出せ20代

みんな原石  
宝石になる世代!!

生年月日 昭和60年9月2日  
 職場 上床歯科医院  
 趣味 バレーボール  
 特技 歯石除去(笑)  
 好きな歌手 YU-A, AZU



入佐真都花さん  
24歳

歯科助手として働き始めて今年で5年目を迎えます。

患者さんの不安な気持ちを少しでも取り除けるように、いつも明るく元気に笑顔で対応します。

☆歯の治療はお早めに☆

## きばっちょっど!

定年後の楽しみ 松山正文さん (64歳)  
 自慢の陶芸工房



今回紹介するのは、南中組集落の松山正文さんです。  
 長年、勤務した郵便局を定年退職した折、地域の先輩から、「何か楽しみを見つけないと、あっという間に年をとるよ」とアドバイスをもらったのをきっかけに、以前から興味があった陶芸を始められたそうです。  
 それからというものの、陶芸にのめり込み、3年前には、陶芸専用の工房まで構えられました。  
 工房の名は、「古今なごみ」。ここに訪れた人が、和んで癒されて、心の拠り所になるような場所にしたいという思いで名づけられたそうです。  
 工房の内装などは、手作りのものばかりで、寒い時期の暖房効果を高めるためにサッシとの内側に木枠をはめて二重窓としたり、材木をバーナーであぶって作った棚など、昭和の雰囲気いっぱいになっていました。

棚のあちこちには、ランプやブラウン管テレビなど今では珍しい、家電や古道具が所狭しと並び、骨董や農機具集めも楽しみの一つなのだそう。  
 また工房内には、クラシックが流れており、大好きな音楽を聴きながら、陶芸に打ち込むのも至福のひとつなのだとか。  
 一日の大半をこの工房内で焼物の形や色、デザインを考えながら過ごすのだそうですが、松山さんの陶芸作品には、アイデアや工夫がいっぱいで、注ぎ口が両方についた急須や、厄介者の「桜島の灰」を混ぜて色合いを出した皿など数え切れません。  
 これまでに各地域で行われている作品展にも多数出品し、幾度も入賞されています。  
 興味のある方は、ぜひ「古今なごみ」に足を運んでみてください。